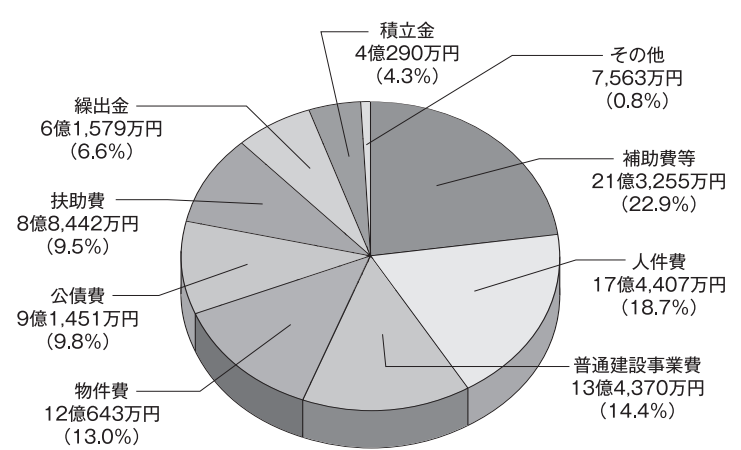


●会計別当初予算額

会計名称	当初予算額	対前年度伸率 (当初予算比)
一般会計	93億2,000万円	△ 9.8%
特別会計	54億5,838万円	△ 4.4%
国民健康保険 特別会計	33億3,300万円	△ 1.4%
老人保健特別 会計	700万円	△ 96.2%
後期高齢者医 療特別会計	2億600万円	△ 5.5%
介護保険特別 会計	15億2,158万円	△ 4.7%
農業集落排水 事業特別会計	6,080万円	4.8%
東陽食肉セン ター特別会計	3億3,000万円	18.7%
病院事業会計	14億4,170万円	△ 0.2%
合 計	162億2,008万円	△ 7.3%

●性質別に見てみると



用語解説

補助費等	ごみ処理やし尿処理などを行う一部事務組合の負担金や、各種事業・団体への補助金・負担金など
人件費	職員や特別職の給与、議員・各種委員会委員の報酬など
普通建設事業費	道路、橋、学校施設などの建設・整備に使うお金
物件費	人件費、扶助費、補助費等以外の町が支出する消費的性質のお金
公債費	道路や公共施設などの整備のために借り入れた町債の返済に充てるお金
扶助費	高齢者、児童、心身障害者などに対して行う支援のための経費
繰出金	国民健康保険や介護保険などの特別会計に繰り出すお金
積立金	地域振興基金などの財産の積み立てに使うお金

どの町税で、その額は24億4,725万円となっております。町税では、固定資産税が評価替えにより前年度に比べ4,589万円(△3.8%)の減となりました。国や県の決定により交付される「依存財源」は53億4,742万円、歳入の57.4%を占めています。依存財源で最も大きい地方交付税では、国の「生活防衛のための緊急対策」により地方交付税総額が増額されたことから、前年度に比べ2,000万円(0.8%)の増となりました。国庫支出金は、横芝中学校建設事業の完了に伴い減額となりました。

町の借金である「町債」では、合併特例債を活用した地域振興基金の積み立てや事業の増加等があるものの、横芝中学校建設事業が完了したこともあり、2億7,870万円(△19.6%)減の11億4,470万円となりました。本年度に借り入れる町債総額のうち合併特例債が5割を占めていますが、その償還額の70%が地方交付税措置されるため、財政運営上非常に有利なものとなっております。

◎歳出

《人件費》議員報酬や町職員給与などの「人件費」は17億4,407万円、職員数の減により前年度に比べ4,355万円(△2.4%)の減となりました。

《公債費》町借入金の返済に充てる「公債費」は9億1,451万円、合併特例債に係る返済金等の増により前年度に比べ1,457万円(1.6%)の増となりました。

《普通建設事業費》道路や公共施設の整備を行う普通建設事業費は13億4,370万円、横芝中学校建設事業の完了により12億7,706万円(△48.7%)の減となりました。

《積立金》住民の一体感の醸成と地域の振興を図るため地域振興基金を4億円積み立てることから、積立金全体では4億290万円、前年度に比べ2億7,129万円(206.1%)の増となりました。